

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ハピサン Books
まちづくり 活 動 名	本と一緒にコミュニティスペース作り
活 動 地 域	名古屋市南区呼続界隈
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>活字離れと言われ久しい昨今。しかし、親が読み聞かせをする子どもの眼差しはととも輝いています。その輝きをいつまでも大切にしていきたいと思った時、本に出会える場所が少ないことに気がつきました。出会った本によって人生が大きく変わることもある。そして本は様々な知識や感情が蓄えられ、それはやがてコミュニケーションの力となると思います。本に出会える場をできるだけ多く、そして本を介してコミュニティが作られる場があると、その街はとて素晴らしい雰囲気になるのでは？と思ったのが活動のきっかけです。その思いを胸に声かけをしたら賛同してくれる方が多々おり団体の立ち上げのきっかけとなりました。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>■目的 本を介して幅広い年代が集えるコミュニティの場を作る。</p> <p>■目標 活動地域に3つ以上の本を介したコミュニティ拠点を作る。活動地域で移動図書館や移動カフェなどでイベント開催し賑やかな場づくりをする。</p> <p>■成果 子どもから大人まで、様々な年代の方が利用し、交わされる言葉で色々な方が自然と交流できるようにする。</p>
活 動 内 容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街と珈琲という南区呼続にあるカフェを利用しコミュニティスペースで定期的に図書館を開催する。それにより、近所の子どもたちや大人たちが来場し本と人とのふれあいを育む。 ・移動図書館ほかさまざまなお店に出店しマルシェ的イベントを開催し本を介してハレの日のような場づくりをする。 ・フリーペーパーづくり 地域に根差したフリーペーパーを作り地域のお店や拠点に置いていただく。気づかない面白い建物や道、知られていない地域の歴史、隠れた名店など、住んでいても知らないような事柄を取材しフリーペーパーにし、街の魅力に気づいてもらう。 ・「まちのベンチ」と称し、本箱とベンチを歩道に面した私有地や駐車場におき、だれでも本を読めるように、また誰でも休憩できるような場所をつくる。 ・「軒先の一箱本箱」活動 協力者を募り家の軒先に一つの本箱を置いていただく。その本は借りてもいいし寄付してもいい。本箱一つあること、それを気にする方がいることで、人を介さなくても小さなコミュニティが生まれ、一人でもできる場づくりなど、後に円状に広がっていくような大きなコミュニティの場への足がかりをつくる

活動予定期	2022年 4月 ~ 2023年 3月	
助成金交付申請額	100,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
	<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>・この取り組みを通じ、地域で本を通じて知り合う人たちが増え、交流が活発化し、よりよい街になると思う。</p> <p>昨年度まで取り組んできた本箱ワークショップやフリーペーパーも好評であり、助成金で活動を継続し、さらに地域づくりを進めていきたい。</p> <p>活動拠点を今年度より『街と珈琲』に移した。本団体の代表である店主の声かけで、すでに沢山の地域の方が「この街を良くしたい」という志を持ち活動している。</p>
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
	<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>昨年度までの実績があり、活動内容、資金計画は問題ないと考えます。</p> <p>今年度は「駄菓子屋」の活動を追加して、さらに近隣の方への活動の周知、協力的なスタッフの増員につながると考えています。</p>
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
	<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>・新しい活動拠点である『街と珈琲』も「カフェの中の商店街」の活動が地域に浸透しています。</p> <p>また、立地も通りに面し、目を引き、立ち寄りやすい場所で地域の方を巻き込んでいけると思います。</p> <p>活動のノウハウは他の場所でも応用できるので、他団体とも交流を図りながら情報交換し、活動を発展させていきたいと思っています。</p>

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
まちおこし団体 「わがまちを元気にする会」	南区呼続界限で街おこし活動をしている「わがまちを元気にする会」とすでに連携しており、季刊誌に活動のお知らせをのせたり、マルシェイベント時には出店し、広報活動などをしていきます。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2022	4	スタッフミーティング	今年度の活動計画
	5	ミーティング 定期開催図書館、駄菓子屋	活動協力者との具体的なミーティング 本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催
	6	定期開催図書館、駄菓子屋 フリーペーパー編集会議	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 フリーペーパー発行のための編集会議
	7	定期開催図書館、駄菓子屋 イベント主催	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 広報を兼ねてマルシェの主催
	8	定期開催図書館、駄菓子屋 フリーペーパー発行	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 フリーペーパー発行
	9	定期開催図書館、駄菓子屋 ブックカフェ	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 本をメインに移動カフェ開催
	10	定期開催図書館、駄菓子屋 イベント主催	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 本に関するイベントのマルシェの開催
	11	定期開催図書館、駄菓子屋 ワークショップ	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 本箱作りワークショップ
	12	定期開催図書館、駄菓子屋 フリーペーパー編集会議	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 フリーペーパー発行のための編集会議
	2023	1	定期開催図書館、駄菓子屋 ワークショップ
2		定期開催図書館、駄菓子屋 フリーペーパー発行	本を貸し借りする図書館と駄菓子屋の開催 フリーペーパー発行
3		定期開催図書館 ブックカフェ	本の貸し借りをする図書館の開催 ブックカフェ開催

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費目 手引きの費目を 参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			100,000円	
活動経費の内訳	消耗品費	定期開催図書館 駄菓子屋 フリーペーパー	事務用品 コピー用紙、ペン、テープ、 インク代など イベント開催時の茶菓子代	10,000円 3,000円
	物品費	ワークショップ ブックカフェ 駄菓子屋	板材（5500円×5枚）角材2,000円 工 具 2,000円 ネジ釘3,000円 ペンキ （2400円×3）刷毛（2,000円）敷物 （1,000円×4）	44,700円
	印刷費	募集チラシ フリーペーパー	開催日案内のチラシ作成、印刷 フリーペーパー印刷費	10,000円 30,000円
	賃借料	ワークショップ ブックカフェ	ワークショップやブックカフェ開催時 の場所代（1,000円×2回、5,000円×1 回）	8,000円
	その他	イベント開催時	ボランティア活動保険料（350円×10 名）	3,500円
支出合計			109,200円	

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。